

筑波大学教養教育の理念と目標

教養教育の理念

優れた専門性は、高い倫理と豊かな人間性によって支えられなければならない。筑波大学生は、各学群・学類において専門の知識を修めると同時に、それを支える幅広い視座と教養を、全学的な教養教育プログラムを通じて涵養する。

筑波大学の教養教育は、先進的な統合教育を目指す。現代の社会が私たちに課す諸問題は、伝統的な学問分野に切り分けることが困難なまでに多元化し、また錯綜している。こうした状況に対応するため、複数分野の教員の緊密な協力のもとに、現代的な諸問題と伝統的な諸学問分野とのあいだの橋渡しをする統合的導入教育を行い、専門教育を修めるうえでの基盤となる諸学問に、学生が自らの現代的な問題意識を通じて自発的に取り組むことを促す。

筑波大学の教養教育は全人的でなければならない。芸術やスポーツまでも含んだ幅広い学問分野を擁する筑波大学の特徴は、教養教育に全人教育・生涯教育としての豊かな広がりを与える。こうした特徴を最大限に活かす教養教育プログラムは、生涯を通じた自己開発を支える豊かな人間性と高い倫理を育てる。

生涯を通じて発信し続けるアカデミック・リテラシーの涵養も、これと並ぶ教養教育の使命である。多様なキャリアを常に支える日本語の高度な論述能力、国際社会において直ちに通用する国際コミュニケーション能力、そして今日の高度に複雑化した世界を科学的知識に基づいて理解する能力、高度 ICT 社会に参加し貢献するコミュニケーション能力がこれに含まれる。

筑波大学において、教養教育と専門教育は二分されない。各学群・学類においてそれぞれの専門性を踏まえて、必要と判断される教養を補完する科目が豊富に開講される。また学生ひとりひとりの関心と必要に応じて、他学群・学類の開設科目も含む自由な履修設計も強く促される。これを通じて、専門教育は教養教育と統合され、広い学問的視野に基づく高度な問題解決能力として結実する。

教養教育の目標

1. 基盤教育 ---- 専門教育を支える幅広い基礎の構築

多様な専門教育、そして社会生活の基盤となる諸学を、学生の問題意識に即して導入する。学生は多彩に開設された統合的導入科目を、自己の問題意識と関心に応じて選択し、これを通じて複数の学問分野に統合的に接する。専門教育の確かな基盤としてのコアの整備を図ると同時に、将来の専攻分野から離れた学問領域に積極的に接することを促す。文系・理系といった伝統的な区分けを越えた学習は、とくに推奨される。

これに加えて、自由科目を設定した柔軟な履修制度により、4年間を通じてあらゆる段階で、学生は異分野の学問を、必要に応じて履修する機会が保障され、優れた専門性と幅広い教養とのバランスを自由にかつ自発的に設計することが可能となる。これを通じて多角的・学際的視座から問題を解決する総合力を育成する。

2. アカデミック・リテラシー ---- 専門人・社会人としての高度なコミュニケーション能力の育成

将来どのような専門分野とキャリアを選ぶ場合でも、知の技法としての高度なコミュニケーション能力（アカデミック・リテラシー）が必要とされる。

これを保障するため、情報の適確な収集・分析に基づき、日本語による高度な論述能力の涵養を全学的規模で行う。またグローバル化する今日の社会にあって、外国語によるコミュニケーション能力は必須である。筑波大学では、1年次において学生の能力と関心に応じた外国語科目を全学的に提供するのみならず、各学群・学類が必要と判断する場合には、学類の専門科目としても外国語を提供する。

さらに、科学的な情報を的確に理解し発信する能力（サイエンティフィック・リテラシー）、ならびに高度ICT社会に対応する豊かな自己表現能力（コンピュータ・リテラシー）もまた今日の専門人・社会人に要請される不可欠のリテラシーとして、これらを涵養する。

3. ヒューマニティ ---- 専門に偏することのない豊かな人間性と高い倫理の涵養

優れた専門性を持つ専門人・社会人は、高い倫理性と優れた感性、そして健やかな身体を備えるべきである。

このため統合的導入科目にあっては、狭義の学問分野を超えて現代社会の倫理を問う科目を開設し、これを通じて高い倫理性を備えた専門人・社会人を育成する。また学群・学類の垣根を越えて専門科目を履修することのできる自由な履修システムを通じて、学生が1つの学問分野にとらわれることない、広い視座のなかで学ぶことを促す。

さらに体育・芸術までも含んだ幅広い学問分野を擁する筑波大学の特徴を最大限に活かして、全学科目には体育と並んで芸術を開設し、豊かな感性と健やかな心身の育成を重視した教養教育を行う。

4. キャリア --- 社会に応える目的意識の形成

専門教育は、学生のキャリアに対する展望と目的意識のもとになされるべきである。ここでいうキャリアは就職活動に限定されるものではなく、責任ある専門人・家庭人として生涯学び問ひ続ける姿勢が、より重要である。

このような姿勢を養うため、一年次に少人数クラスを設置し、ここで緊密な人間関係を通じた大学生活への導入を図ると同時に、学生一人一人が自らのキャリアについて展望を持ち、学ぶことの意義を社会的な視野で考える機会を設ける。社会的な使命感をもって学び続ける人間の育成という目標は、インターンシップ、留学制度など多様な社会的経験を積むためのプログラムをはじめ、専門教育も含めた多岐にわたる大学教育全体によって実現されるものである。

1 はじめに

芸術は、間口がひろく、奥行きが深い。そのひろい間口の、様々な分野にわたる芸術の授業を、全学の共通科目として開講している総合大学は、おそらく日本の中で筑波大学だけだと思われます。あるいは世界の総合大学の中でも極めて稀なことかも知れません。

全学共通科目「芸術」の科目は、授業の内容と方法により、大きく以下の三種に分類することができます。①美術館などで芸術作品を鑑賞する科目、②絵画や彫塑や絵本などを実際に制作する科目、③芸術の視点と手法によって地域社会の問題を解決するための方法を学ぶ科目。

①は芸術作品を実地に鑑賞することで、芸術に関する理解を深め、感性を磨くための科目で、「アートツアー」「現代アート入門」がそれです。②はそれぞれの分野の特性をふまえて、作品制作に関する基礎的技法を習得し、受講者が主体的に構想を練って作品を作り上げる科目です。「版画実習基礎」「日本画実習」「塑造実習」「書」「色彩基礎演習」「工芸工作実習」「絵本制作」「イラストレーション」がそれです。③は組織されたプロジェクトに加わって、地域社会との具体的な連携のもとで芸術表現を試みる科目「大学を開くアート・デザインプロデュース演習」がそれです。いずれの科目も、各分野の第一線で活躍されている教員が授業担当者となって、懇切丁寧に受講者の指導に当たります。

全学共通科目「芸術」は、筑波大学が目指している全人的な教育の実現のために、教養教育の一環として準備されている皆さんのための科目です。芸術に関する様々な知識を習得し、美的な感性を養い、具体的に作品を制作することで、芸術の楽しさや難しさ、そして奥深さを体験していただきます。多くの科目では英文・和文併用のテキストも用意されており、外国人留学生の皆さんが受講しやすくなっていることも大きな特色です。

平成20年度から開設している全学共通科目「芸術」は丸10年を過ぎ、今後も受講生の皆さんからの要望に可能なかぎり応えながら、より充実した科目内容をめざし、本学の教養教育の充実に貢献したいと思っています。

芸術専門学群長

中村 伸夫

2 例言

1. このシラバスは、平成 30 年度共通科目「芸術」の履修上の要領および授業計画などを示したものである。
2. 履修上の一般規則は、筑波大学「履修要覧」に準拠しているので、この便覧と併せて熟読し履修計画を立てること。
3. 履修計画上の相談は、随時、体芸支援室学務担当がこれに応じている。
4. このシラバスの内容や記載事項について変更の必要が生じた場合は、そのつどカリキュラム委員会が訂正を行うので、掲示に注意すること。

平成 30 年 3 月

芸術専門学群カリキュラム委員会

3 担当教員

(*@* の * マークを削除して使用のこと)

専攻	教員指名	職名	研究室	電話 029-853	E-mail	オフィスアワー
芸術学	大久保 範子	助 教	B137		norikontakt*@*geijutsu.tsukuba.ac.jp	木 10:30 ~ 11:00
美	太田 圭	教 授	B637	6374	ohta*@*geijutsu.tsukuba.ac.jp	水 12:30 ~ 13:30
	菅野 智明	教 授	B535	2715	kanno*@*geijutsu.tsukuba.ac.jp	火 12:30 ~ 13:30
	中村 義孝	教 授	B134	2740	nakamura*@*geijutsu.tsukuba.ac.jp	木 17:00 ~ 18:00
	大原 央聡	准教授	B135	2844	hoha*@*geijutsu.tsukuba.ac.jp	月 9:00 ~ 10:00
	田島 直樹	准教授	B636	2724	tajima*@*geijutsu.tsukuba.ac.jp	水 13:00 ~ 14:00
	福満 正志郎	准教授	B635	2723	syo-f*@*geijutsu.tsukuba.ac.jp	火 12:00 ~ 13:00
術	程塚 敏明	准教授	B643	2719	kiku*@*geijutsu.tsukuba.ac.jp	水 12:30 ~ 13:30
	山本 浩之	准教授	B642	2860	t-yama*@*geijutsu.tsukuba.ac.jp	水 12:30 ~ 13:30
構 成	國安 孝昌	教 授	B306	2831	kuniyasu*@*geijutsu.tsukuba.ac.jp	水 17:00 ~ 18:00
	田中 佐代子	教 授	B335	2823	satanaka*@*geijutsu.tsukuba.ac.jp	不定期 (要事前連絡)
	齋藤 敏寿	准教授	B138	2849	toshiju*@*geijutsu.tsukuba.ac.jp	不定期 (要事前連絡)
	Mahshid Baniani	助 教	B438	2855	mahshid*@*geijutsu.tsukuba.ac.jp	不定期 (要事前連絡)
デ ザ イ ン	山本 美希	助 教	B333	2846	mk-yamamoto*@*geijutsu.tsukuba.ac.jp	火 14:00 ~ 15:00
	五十嵐 浩也	教 授	B304	2701	igara*@*kansei.tsukuba.ac.jp	月 11:00 ~ 12:00
	貝島 桃代	准教授	B533	2709	mkaijima*@*rg7.so-net.ne.jp	水 不定期 (要事前連絡)
	渡 和由	准教授	B433	2705	watari*@*geijutsu.tsukuba.ac.jp	不定期 (要事前連絡)
	原 忠信	准教授	B332	2829	tad*@*geijutsu.tsukuba.ac.jp	不定期 (要事前連絡)

4 共通科目「芸術」の概要

(1) 開設趣旨

美を感じ、美を表現し、美を共有することは、すべての人が本来備えている素質であるが、受けた訓練や経験の違いによって、それぞれの水準や質が著しく異なることも知られている。芸術分野は国際的には大学におけるリベラルアーツ教育の重要な要素とみなされてきたが、わが国の高等教育においては必ずしもその重要性が認識されてこなかった。芸術によって涵養されるバランス感覚や自己表現の能力は、これからの調和的発展を目指す持続可能な社会にとっては必要不可欠なものになりつつある。筑波大学は創設以来わが国を代表する芸術分野の部局を持ち、優れた専門家を輩出してきた。その伝統をさらに発展させて、筑波大学の学生が芸術学、美術、構成、デザインの全般にわたってすぐれた文化的営みを理解し鑑賞する力と、これらの営みに積極的に参加しようとする態度をはぐくむために、芸術科目として開講する。

(2) 授業の内容

芸術専門学群の教育組織に対応する、下記の4専攻、15のコース、領域、特別カリキュラムから、()内の23の科目のうち本年度は17科目が開講され、講義、演習、実習などからなります。

芸術学専攻

美術史コース	(アートツアー)
芸術支援コース	//

美術専攻

洋画コース	(絵画実習 A,B)
日本画コース	(日本画実習 A,B)
彫塑コース	(塑造実習 A,B)
書コース	(書 A,B,C)
特別カリキュラム・版画	(版画実習基礎)

構成専攻

総合造形領域	(現代アート入門)
クラフト領域	(工芸工作実習 A 陶磁)
構成領域	(色彩基礎演習)
ビジュアルデザイン領域	(絵本制作) (イラストレーション)

デザイン専攻

情報デザイン領域	(大学を開くアート・デザインプロデュース演習 A-1,2,3、B-1,2,3)
プロダクトデザイン領域	//
環境デザイン領域	//
建築デザイン領域	//

(3) 履修上の注意事項

- ①演習、実習科目などについては、教育の充実を図るために受講者数の上限が定められています。履修申請者数が受入上限数を超過した場合には受講者の調整が行われますので注意してください。
- ②実習科目などについては、履修に際して保険の加入を義務付けることがあります。

5 共通科目「芸術」時間割

科目名	実施学期	曜時限	単位数	教室	担当教員	備考
芸術(アートツアー)	春 AB	金 2 集中	1.0	5C317	大久保 範子	人数制限あり(60名)
芸術(絵画実習 A)	春 AB	月4・5	1.0	5C303	福満 正志郎	
芸術(絵画実習 B)	秋 AB	月4・5	1.0	5C303	福満 正志郎	
芸術(版画実習基礎)	秋 C	火4・5 集中	1.0	工房棟 C204, 6A105	田島 直樹	芸術専門学群生は1年生のみ受講可、人数制限あり(10名)
芸術(日本画実習 A)	春 AB	火2・3	1.0	アート&デザイン実習室1	太田 圭 程塚 敏明 山本 浩之	人数制限あり(30名)
芸術(日本画実習 B)	秋 AB	火2・3	1.0	アート&デザイン実習室1	太田 圭 程塚 敏明 山本 浩之	人数制限あり(30名)
芸術(塑造実習 A)	春 AB	火4・5	1.0	アート&デザイン実習室1	中村 義孝 大原 央聡	人数制限あり(10名)
芸術(塑造実習 B)	秋 AB	火4・5	1.0	アート&デザイン実習室1	中村 義孝 大原 央聡	人数制限あり(10名)
芸術(書 A)	春 AB	月 4	1.0	6A403	小倉 太郎	教職対応、人数制限あり(30名)
芸術(書 B)	秋 AB	月 4	1.0	6A403	小倉 太郎	教職対応、人数制限あり(30名)
芸術(書 C)	秋 C	月 4 集中	1.0	6A403	菅野 智明	教職対応
芸術(色彩基礎演習)	春 AB	火 5	1.0	5C203	Mahshid Baniani	英語で授業。This class will be held in English. 芸術専門学群生受講不可。 西暦偶数年度開講。人数制限あり(40名)
芸術(現代アート入門)	春 AB	水 1	1.0	5C407	國安 孝昌	芸術専門学群生受講不可
芸術(工芸工作実習 A 陶磁)	春 AB	火2・3	1.0	アート&デザイン実習室2	齋藤 敏寿	授業時間以外に窯焼成等(温度管理当番)の時間を確保できること。西暦偶数年度開講。 人数制限あり(25名)
芸術(絵本制作)	春 AB	火 2	1.0	5C203	山本 美希	西暦奇数年度開講。 人数制限あり(30名)。芸術専門学群生受講不可
芸術(イラストレーション)	春 AB	火 5	1.0	学情サテライト A203	田中佐代子	西暦偶数年度開講。 芸術専門学群生受講不可。人数制限あり(50名)
芸術(大学を開くアート・デザインプロデュース演習 A-1)	春 AB	応談	1.0		渡 和由 貝島 桃代 五十嵐浩也 原 忠信	同演習 A-2、A-3 も合わせて履修することが望ましい。 西暦奇数年度開講。
芸術(大学を開くアート・デザインプロデュース演習 A-2)	春C秋A	応談	1.0		同上	同演習 A-1、A-3 も合わせて履修することが望ましい。 西暦奇数年度開講。
芸術(大学～ A-3)	秋 BC	応談	1.0		同上	同演習 A-1、A-2 も合わせて履修することが望ましい。 西暦奇数年度開講。
芸術(大学を開くアート・デザインプロデュース演習 B-1)	春 AB	応談	1.0		同上	同演習 B-2、B-3 も合わせて履修することが望ましい。 西暦偶数年度開講。
芸術(大学を開くアート・デザインプロデュース演習 B-2)	春C秋A	応談	1.0		同上	同演習 B-1、B-3 も合わせて履修することが望ましい。 西暦偶数年度開講。
芸術(大学～ B-3)	秋 BC	応談	1.0		同上	同演習 B-1、B-2 も合わせて履修することが望ましい。 西暦偶数年度開講。

芸術(アートツアー)

大久保 範子

科目番号 4001 011 1.0単位 1年次 春 AB金2 集中

授業概要 講義

備考 人数制限あり(60名)
G科目

授業形態 講義

授業計画 美術館等を見学し、芸術について学ぶ。見学場所等については受講の初回に説明する。

評価方法 授業時ワークシートとレポートにより総合的に評価する。

参考図書 授業中に適宜紹介する。

オフィスアワー 電子メールにて対応

備考

芸術(絵画実習 A)

福満 正志郎

科目番号 4002 013 1.0単位 1-4年次 春 AB 月4.5

授業概要 洋画の実習授業を行う。

備考 G科目

授業形態 実習・実験・実技

授業計画 様々なモチーフの写生などを通して、絵画に対する理解を深め、造形感覚を養う。特に油絵具による色彩による表現について学ぶ。

- 第1回 油絵の材料の取り扱いについて
- 第2回 モノトーン、グラデーション、補色の理解
- 第3回 明度、彩度、色相の理解と調和
- 第4回 画面構成について
- 第5回 形態について
- 第6回 対象の量感の把握
- 第7回 対象の質感の把握
- 第8回 透明色をグレースする
- 第9回 画面全体の雰囲気について
- 第10回 自作を客観視する
講評会

評価方法 制作の進行状況や講評会における提出による。

参考図書

オフィスアワー

備考

芸術(絵画実習 B)

福満 正志郎

科目番号 4002 023 1.0単位 1-4年次 秋 AB 月4,5

授業概要 洋画の実習授業を行う。

備考 G科目

授業形態 実習・実験・実技

授業計画 その都度指示する。

評価方法 制作の進行状況、完成した作品、授業の内容をどこまで吸収しているか。

授業計画 様々なモチーフの写生などを通して、絵画に対する理解を深め、造形感覚を養う。特に油絵具によるマチエール(画肌)による表現について学ぶ

第1回 油絵の材料の取り扱いについて

第2回 マチエールの理解

第3回 マチエールと質感の関係

第4回 画面構成について

第5回 形態について

第6回 対象の量感の把握

第7回 対象の質感の把握

第8回 透明色をグレイズする

第9回 画面全体の雰囲気について

第10回 自作を客観視する

講評会

評価方法 制作の進行状況や講評会における提出による。

参考図書

オフィスアワー

備考

芸術(版画実習基礎)

田島 直樹

科目番号 4003 013 1.0単位 1-4年次 秋C火4,5 秋C集中

授業概要 前半はエッチング(腐蝕銅版画)、後半はスクリーンプリントの実習授業を行う。

備考 芸術専門学群生は版画概論を履修済の1年生のみ受講可
G科目
人数制限あり(10名)

授業形態 実習・実験・実技

授業計画 版画の初心者に対して、異なる二つの技法の実習を通して版表現の幅広さを体感してもらう。
本授業ではスクリーンプリントとエッチング(腐蝕銅版画)の作品制作を行う。

第1回 銅版画技法の説明(エッチング)、プレートマーク制作・下準備

第2回 下絵作成、版に転写

第3回 ニードルにて描画

第4回 腐蝕、試し刷り

第5回 加筆・修正、腐蝕

第6回 本刷り、完成

第7回 スクリーンプリントに関する説明、スクリーン張り

第8回 原稿作成

第9回 感光、版の洗浄

第10回 刷り

学期末に実習作品の講評を行う。

評価方法 提出された作品と出席状況によって総合的に評価する。

参考図書

オフィスアワー 毎週水曜 13:00 ~ 14:00

備考

芸術(日本画実習 A)

太田 圭、程塚 敏明、山本 浩之

科目番号 4004 013 1.0単位 1-4年次 春 AB火2,3

授業概要 日本画の実習授業を行う。

備考 人数制限あり(30名)
G科目

授業形態 実習・実験・実技

授業計画 第1回 ガイダンス、墨線の練習
第2回 模写(「上げ写し」技法を学ぶ): 模本『鳥獣戯画』について
第3回 ヶ: 「上げ写し」技法について
第4回 ヶ: 使用する画材と技法
第5回 ヶ: 墨による技法と表現
第6回 ヶ: 筆の特性と毛筆の線について
第7回 ヶ: 面相筆と則妙筆の線について
第8回 ヶ: 肥瘦線の魅力と表現技法
第9回 ヶ: 朱の使い方
第10回 講評会

評価方法 提出作品及び授業への出席状況

参考図書

オフィスアワー 電子メールにて対応(山本 浩之)

備考

芸術(日本画実習 B)

太田 圭、程塚 敏明、山本 浩之

科目番号 4004 023 1.0単位 1-4年次 秋 AB火2,3

授業概要 日本画の実習授業を行う。

備考 人数制限あり(30名)
BE21313 と同一。
G科目

授業形態 実習・実験・実技

授業計画 第1回 ガイダンス、モチーフ(花)選び
第2回 鉛筆による写生：構図について
第3回 ♪：形のとらえ方と細部の表現
第4回 水彩絵具による彩色写生：画材の特性と使用について
第5回 ♪：対象の観察と彩色の検討
第6回 ♪：塗り重ねによる表現の工夫
第7回 ♪：花の美しさの表現
第8回 ♪：植物の生命観の表現
第9回 ♪：細部と全体のバランスの検討
第10回 講評会

評価方法 提出作品及び授業への出席状況

参考図書

オフィスアワー 電子メールにて対応(程塚 敏明)

備考

芸術(塑造実習 A)

中村 義孝、大原 央聡

科目番号 4005 013 1.0単位 1-4年次 春 AB火4,5

授業概要 人物のモデルを使用し、粘土による頭像を制作する。

備考 人数制限あり(10名)
G科目

授業形態 実習・実験・実技

授業計画 塑造による頭像制作を通して、立体的な形態把握、表現する基礎的な能力を養う。
第1回 課題についての説明、モデルへの対応等について
第2回 デッサン、心棒組み
第3回 制作Ⅰ(大掴みな土付け)
第4回 制作Ⅱ(量塊の構成)
第5回 制作Ⅲ(面と量塊)
第6回 制作Ⅳ(量感豊かな表現、比例・均衡・動勢について)
第7回 制作Ⅴ(量感豊かな表現、比例・均衡・動勢について)
第8回 制作Ⅵ(量感豊かな表現、比例・均衡・動勢について)
第9回 制作Ⅶ(仕上げの制作)
第10回 講評(学習内容の反省と作品講評、作品の評価)

評価方法 提出課題作品及び授業への取り組み方、自己課題の達成による総合評価

参考図書 制作過程の中で適宜、個別に指示する。

オフィスアワー

備考

芸術(塑造実習 B)

中村 義孝、大原 央聡

科目番号	4005 023	1.0 単位	1 - 4 年次	秋 AB 火 4, 5
授業概要	人物のモデルを使用し、粘土による頭像を制作する。			
備考	人数制限あり (10 名) G 科目			
授業形態	実習・実験・実技			
授業計画	塑造による頭像制作を通して、立体的な形態把握、表現する基礎的な能力を養う。 第 1 回 課題についての説明、モデルへの対応等について 第 2 回 デッサン、心棒組み 第 3 回 制作 I (大掴みな土付け) 第 4 回 制作 II (量塊の構成) 第 5 回 制作 III (面と量塊) 第 6 回 制作 IV (量感豊かな表現、比例・均衡・動勢について) 第 7 回 制作 V (量感豊かな表現、比例・均衡・動勢について) 第 8 回 制作 VI (量感豊かな表現、比例・均衡・動勢について) 第 9 回 制作 VII (仕上げの制作) 第 10 回 講評 (学習内容の反省と作品講評、作品の評価)			
評価方法	提出課題作品及び授業への取り組み方、自己課題の達成による総合評価			
参考図書	制作過程の中で適宜、個別に指示する。			
オフィスアワー				
備考				

芸術(書 A)

小倉 太郎

科目番号	4006 012	1.0 単位	1 年次	春 AB 月 4
授業概要	書の演習授業を行う。			
備考	教職対応 G 科目 人数制限あり (30 名)			
授業形態	演習			
授業計画	書写・書道の基礎的技能を習得するとともに、学校教材に対する理解を深める。 第 1 回 前説 第 2 回 楷書 (1) 第 3 回 楷書 (2) 第 4 回 行書 (1) 第 5 回 行書 (2) 第 6 回 かな (1) 第 7 回 かな (2) 第 8 回 文字の大きさ 第 9 回 字配り (1) 第 10 回 字配り (2)			
評価方法	出席状況と提出課題により評価する。			
参考図書	別途指示			
オフィスアワー	火曜 12:30 ~ 13:30 (菅野 智明)			
備考				

芸術(書 B)

小倉 太郎

科目番号 4006 022 1.0単位 1年次 秋 AB月 4

授業概要 書の演習授業を行う。

備考 教職対応
G科目
人数制限あり(30名)

授業形態 演習

参考図書 別途指示

授業計画 書写・書道の基礎的技能を習得するとともに、学校教材に対する理解を深める。
第1回 前説
第2回 楷書(1)
第3回 楷書(2)
第4回 行書(1)
第5回 行書(2)
第6回 かな(1)
第7回 かな(2)
第8回 文字の大きさ
第9回 字配り(1)
第10回 字配り(2)

評価方法 出席状況と提出課題により評価する。

参考図書 別途指示

オフィスアワー 火曜 12:30～13:30 (菅野 智明)

備考

芸術(書 C)

菅野 智明

科目番号 4006 032 1.0単位 1年次 秋 C月 4 秋 C集中

授業概要 書の演習授業を行う。

備考 教職対応
G科目

授業形態 演習

授業計画 書写・書道の基礎的技能を習得するとともに、学校教材に対する理解を深める。
第1回 前説
第2回 楷書(1)
第3回 楷書(2)
第4回 行書(1)
第5回 行書(2)
第6回 かな(1)
第7回 かな(2)
第8回 文字の大きさ
第9回 字配り(1)
第10回 字配り(2)

評価方法 出席状況と提出課題及び筆記試験により評価する。

参考図書 別途指示

オフィスアワー 火曜 12:30～13:30

備考

芸術(色彩基礎演習)

Mahshid Baniani

科目番号	4007 012 1.0単位 1年次 春 AB火5
授業概要	Through projects, this class will provide students with great opportunities to express creative ideas regarding color and color expression.
備考	西暦偶数年度開講。英語で授業。This class will be held in English. G科目 芸術専門学群生受講不可 人数制限あり(40名)
授業形態	演習
授業計画	1. Orientation 2. Project I: Color Wheel 3. Project II: Cool Warm Colors 4. Presentation 5. Project III: Color in Architecture 6. Presentation 7. Project IV: Color Harmony I 8. Presentation 9. Project V: Color Harmony II 10. Presentation
評価方法	Attendance Participation Presentation
参考図書	
オフィスアワー	Make appointment by e-mail
備考	

芸術(現代アート入門)

國安 孝昌

科目番号	4008 011 1.0単位 1年次 春 AB水1
授業概要	現代アートについて、作家としての体験的視点から講義を行う。
備考	芸術専門学群生受講不可 G科目
授業形態	講義
授業計画	1.はじめに・現代アートの現況 現代の芸術の応援団になるために 2.「機械天国」未来派・立体派 3.「権力の下で」ドイツ表現主義・構成主義 4.「喜びの風景」ピカソ、マチス、ナビ派 5.「ユートピアへの夢」建築、デ・ステイル 6.「自由への扉」シュールレアリズム、抽象表現主義 7.「不安な影」ゴッホ、表現主義、熱い抽象 8.「街の中で」ポップアート 9.「かつての未来」アースワーク、ミニマルアート、コンセプチュアルアート 10.まとめ・80年代、90年代、00年代の考察
評価方法	出席率とレポートにより評価する
参考図書	BBC制作、「モダンアート衝撃の100年」のDVDを参考にすすめる。
オフィスアワー	事前にメールでアポイントメントをとって下さい。kuniyasu@geijutsu.tsukuba.ac.jp
備考	

芸術(工芸工作実習 A 陶磁)

齋藤 敏寿

科目番号	4009 013 1.0単位 1年次 春 AB火2,3
授業概要	陶磁の基礎的な成形技法(手びねり、板づくり、ロクロ)・装飾(絵付け、釉薬)・焼成(素焼き、本焼き)すべての行程を実習する。
備考	授業時間以外に窯焼成等(温度管理当番)の時間を確保できること。 初回授業(ガイダンス)に必ず出席すること。 西暦偶数年度開講。 G科目 人数制限あり(25名)
授業形態	実習・実験・実技
授業計画	目標 やきもの制作の基礎的な知識と技術を習得できる。 計画 作陶をする上で、必要な基礎的な知識、技術、技法を習得する為の実習を行う。 第1回 ガイダンス、多種にわたる陶磁作品のスライドレクチャー 第2回 土から陶磁にいたる行程について、土練り実習(荒練り、菊練り) 第3回 板作りによる制作実習 第4回 手捻り(紐作り)による制作実習 第5回 轆轤成形1・道具の使い方、成型方法 第6回 轆轤成形2・作品の仕上げについて 第7回 制作から乾燥、焼成にいたる諸注意。顔料、釉薬の調合について 第8回 焼成についての諸注意、温度管理、窯の使い方1・素焼き 第9回 絵付け、釉掛け、窯詰め、温度管理、窯の使い方2・本焼き 第10回 窯出し、講評会
評価方法	1. 評価方法:出席状況、課題提出。 2. 割合:出席 20% レポート 30% 作品 50% 3. 評価基準:7回以上の出席、全課題作品の提出。
参考図書	種々ある陶芸技法書を一読のこと
オフィスアワー	電子メールにて対応 E-mail toshiju* *geijutsu.tsukuba.ac.jp *@*を@に変更し送信すること。
備考	

芸術(絵本制作)

山本 美希

科目番号	4011 012 1.0単位 1年次 春 AB火2
授業概要	絵本は、本という場を活かし、絵と言葉の複合によって内容を伝える独自のメディアである。 課題制作を通して絵本の可能性を探る。
備考	西暦奇数年度開講。 G科目 人数制限あり(30名) 芸術専門学群生受講不可
授業形態	演習
授業計画	第1回 オリエンテーション、絵本とは何か 第2回 小課題1 言葉から絵へ 第3回 小課題2 絵から言葉へ 第4回 小課題3 ページをめくる面白さとは 第5回 絵本制作 プランニング 第6回 絵本制作 絵コンテ作り 第7回 絵本制作 ダミー作り 第8回 絵本制作 作画 第9回 絵本制作 製本 第10回 講評、まとめ
評価方法	課題への対応具合、出席状況等に基づき、総合的に評価する。配分割合は出席 50%、提出作品 50%とする。
参考図書	適宜紹介する。
オフィスアワー	事前連絡をしてから訪問すること。mk-yamamoto@geijutsu.tsukuba.ac.jp
備考	

芸術(イラストレーション)

田中 佐代子

科目番号	4010 012 1.0単位 1年次 春 AB
授業概要	Adobe Illustrator の使い方を学びながら、イラストレーションやビジュアルデザインの基本を学ぶ。
備考	西暦偶数年度開講。 G 科目 芸術専門学群生受講不可 人数制限あり(30名)。
授業形態	演習
授業計画	第1回 授業全体の説明、Illustrator の基本操作を学ぶ 第2回 Illustrator で実験道具を描く 第3回 Illustrator でモデル動物を描く 1 第4回 Illustrator でモデル動物を描く 2 第5回 Illustrator で細胞を描く 1 第6回 Illustrator で細胞を描く 2 第7回 Illustrator でキャラクターデザイン 第8回 Illustrator でポスターデザイン 1 第9回 Illustrator でポスターデザイン 2 第10回 講評会
評価方法	1 評価方法：出席状況、課題提出 2 割合：出席状況 50%、課題作品 50% 3 評価基準：7 回以上の出席、全課題作品の提出
参考図書	適宜紹介する。
オフィスアワー	E-Mail に対応 satanaka@geijutsu.tsukuba.ac.jp
備考	Adobe Illustrator の使用経験がない人を歓迎します。

芸術(大学を開くアート・デザインプロデュース演習 A-1)

渡、貝島、五十嵐、原

科目番号

1.0単位 1-4年次 春 AB 応談

授業概要 複数の教員がいくつかのプロジェクトを立ち上げ、学生達でチームを組み、地域や大学の協働者・依頼者とともに、アート・デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を実践的に行う。

備考 同演習 A-2、A-3 も合わせて履修することが望ましい。教室は 6A306 の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4月第3週の水曜 18:15 より 6A308 で行う。詳しくは掲示を参照のこと。
西暦奇数年度開講。
G 科目

授業形態 演習

授業計画 複数の教員がいくつかのプロジェクトを立ち上げ学生達でチームを組み地、域や大学の協働者・依頼者とともに、アート・デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を実践的に行う。
提案内容の運営と施行

- 第1回 オリエンテーション(プロジェクトの紹介・解説)
- 第2回 プロジェクトチーム編成, 運営方法・役割分担の確認
- 第3回 リサーチ、現場の確認
- 第4回 リサーチ、課題の検討
- 第5回 リサーチ、課題の発見と想定
- 第6回 課題の設定
- 第7回 提案
- 第8回 ッ
- 第9回 ッ
- 第10回 中間成果報告1

評価方法 参加プロジェクトと期末全体発表会への出席、貢献内容によって評価する。

参考図書

オフィスアワー オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をしてから訪問すること。
watari*@geijutsu.tsukuba.ac.jp (*は削除して使用のこと)

備考

芸術(大学を開くアート・デザインプロデュース演習 A-2)

渡、貝島、五十嵐、原

科目番号	1.0単位 1-4年次 春C秋A 応談
授業概要	複数の教員がいくつかのプロジェクトを立ち上げ、学生達でチームを組み、地域や大学の協働者・依頼者とともに、アート・デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を実践的に行う。
備考	同演習 A-1、A-3 も合わせて履修することが望ましい。教室は 6A306 の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4月第3週の水曜 18:15 より 6A308で行う。詳しくは掲示を参照のこと。 西暦奇数年度開講。 G 科目
授業形態	演習
授業計画	複数の教員がいくつかのプロジェクトを立ち上げ学生達でチームを組み地域や大学の協働者・依頼者とともに、アート・デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を実践的に行う。 第1回 提案内容の運営と施行 第2回 〃 第3回 〃 第4回 〃 第5回 〃 第6回 提案内容の運営と施行 第7回 〃 第8回 〃 第9回 〃 第10回 中間成果報告2
評価方法	参加プロジェクトと期末全体発表会への出席、貢献内容によって評価する。
参考図書	
オフィスアワー	オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡をしてから訪問すること。 watari*@*geijutsu.tsukuba.ac.jp (*は削除して使用のこと)
備考	

芸術(大学を開くアート・デザインプロデュース演習 A-3)

渡、貝島、五十嵐、原

科目番号 1.0単位 1-4年次 秋 BC 応談

授業概要 複数の教員がいくつかのプロジェクトを立ち上げ、学生達でチームを組み、地域や大学の協働者・依頼者とともに、アート・デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を実践的に行う。

備考 同演習 A-1、A-2 も合わせて履修することが望ましい。教室は 6A306 の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4月第3週の水曜 18:15 より 6A308 で行う。詳しくは掲示を参照のこと。
西暦奇数年度開講。
G 科目

授業形態 演習

授業計画 複数の教員がいくつかのプロジェクトを立ち上げ学生達でチームを組み地域や大学の協働者・依頼者とともに、アート・デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を実践的に行う。

第1回 提案内容の運営と施行

第2回 ヌ

第3回 ヌ

第4回 ヌ

第5回 ヌ

第6回 提案内容の運営と施行

第7回 ヌ

第8回 ヌ

第9回 ヌ

第10回 最終成果報告

評価方法 参加プロジェクトと期末全体発表会への出席、貢献内容によって評価する。

参考図書

オフィスアワー オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡をしてから訪問すること。
watari*@*geijutsu.tsukuba.ac.jp (*は削除して使用のこと)

備考

芸術(大学を開くアート・デザインプロデュース演習 B-1)

渡、貝島、五十嵐、原

科目番号	1.0単位 1-4年次 春 AB 応談
授業概要	複数の教員がいくつかのプロジェクトを立ち上げ、学生達でチームを組み、地域や大学の協働者・依頼者とともに、アート・デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を実践的に行う。
備考	同演習 B-2、B-3 も合わせて履修することが望ましい。教室は 6A306 の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4 月第 3 週の水曜 18:15 より 6A308 で行う。詳しくは掲示を参照のこと。西暦偶数年度開講。 G 科目
授業形態	演習
授業計画	複数の教員がいくつかのプロジェクトを立ち上げ学生達でチームを組み地、域や大学の協働者・依頼者とともに、アート・デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を実践的に行う。 第 1 回 オリエンテーション(プロジェクトの紹介・解説) 第 2 回 プロジェクトチーム編成、運営方法・役割分担の確認 第 3 回 リサーチ、現場の確認 第 4 回 リサーチ、課題の検討 第 5 回 リサーチ、課題の発見と想定 第 6 回 課題の設定 第 7 回 提案 第 8 回 〃 第 9 回 〃 第 10 回 中間成果報告 1
評価方法	参加プロジェクトと期末全体発表会への出席、貢献内容によって評価する。
参考図書	
オフィスアワー	オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡をしてから訪問すること。 watari* [*] @geijutsu.tsukuba.ac.jp (* は削除して使用のこと)
備考	

芸術(大学を開くアート・デザインプロデュース演習 B-2)

渡、貝島、五十嵐、原

科目番号

1.0単位 1-4年次 春C秋A応談

授業概要 複数の教員がいくつかのプロジェクトを立ち上げ、学生達でチームを組み、地域や大学の協働者・依頼者とともに、アート・デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を実践的に行う。

備考 同演習 B-1、B-3 も合わせて履修することが望ましい。教室は 6A306 の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4月第3週の水曜 18:15 より 6A308 で行う。詳しくは掲示を参照のこと。西暦偶数年度開講。
G科目

授業形態 演習

授業計画 複数の教員がいくつかのプロジェクトを立ち上げ学生達でチームを組み地、域や大学の協働者・依頼者とともに、アート・デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を実践的に行う。

第1回 提案内容の運営と施行

第2回 ヌ

第3回 ヌ

第4回 ヌ

第5回 ヌ

第6回 提案内容の運営と施行

第7回 ヌ

第8回 ヌ

第9回 ヌ

第10回 中間成果報告2

評価方法 参加プロジェクトと期末全体発表会への出席、貢献内容によって評価する

参考図書

オフィスアワー オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡をしてから訪問すること。

watari*[*@geijutsu.tsukuba.ac.jp](mailto:watari*@geijutsu.tsukuba.ac.jp) (*は削除して使用のこと)

備考

芸術(大学を開くアート・デザインプロデュース演習 B-3)

渡、貝島、五十嵐、原

科目番号	1.0単位 1-4年次 秋BC応談
授業概要	複数の教員がいくつかのプロジェクトを立ち上げ、学生達でチームを組み、地域や大学の協働者・依頼者とともに、アート・デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を実践的に行う。
備考	同演習 B-1、B-2 も合わせて履修することが望ましい。教室は 6A306 の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4月第3週の水曜 18:15 より 6A308 で行う。詳しくは掲示を参照のこと。西暦偶数年度開講。 G科目
授業形態	演習
授業計画	複数の教員がいくつかのプロジェクトを立ち上げ学生達でチームを組み地、域や大学の協働者・依頼者とともに、アート・デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を実践的に行う。 第1回 提案内容の運営と施行 第2回 ヌ 第3回 ヌ 第4回 ヌ 第5回 ヌ 第6回 提案内容の運営と施行 第7回 ヌ 第8回 ヌ 第9回 ヌ 第10回 最終成果報告
評価方法	参加プロジェクトと期末全体発表会への出席、貢献内容によって評価する
参考図書	
オフィスアワー	オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡をしてから訪問すること。 watari* [*] @geijutsu.tsukuba.ac.jp (*は削除して使用のこと)
備考	

5C棟、6A棟、6B棟、アート&デザイン実習室1・2、工房棟 配置図

